

平成 21 年 06 月 24 日現在

研究種目：基盤研究 (B)	
研究期間：2007 年度～2008 年度	
課題番号：19330138	
研究課題名 (和文)	エスニック・マイノリティによる多文化ソーシャルワーク実践の日豪比較研究
研究課題名 (英文)	A Comparative research on Multi-cultural Social Work Practices between Japan and Australia
研究代表者	横田 恵子 (YOKOTA KEIKO) 神戸女学院大学・文学部・准教授 研究者番号：50316022

## 研究成果の概要：

本研究では、「文化移民」や「レジャー移住者」としてオーストラリアに長期滞在する日本人たちのアカルチュレーションは、日本人コミュニティによって支えられては折らず、移住者の中でボランティアな支援が始まったばかりという現状をインタビューと参与観察によって明らかにした。また、東南・東アジアからの滞日外国人女性たちへの多文化ワークショップ実践の事例から、多文化ソーシャルワークの方法論構築への端緒を模索した。

## 交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007 年度	2,900,000	870,000	3,770,000
2008 年度	2,500,000	750,000	3,250,000
年度			
年度			
年度			
総計	5,400,000	1,620,000	7,020,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉学

キーワード：多文化ソーシャルワーク、エスニック・マイノリティ、トランスナショナル

## 1. 研究開始当初の背景

海外移住者が激増している日本社会だが、移住第一世代が中心となっているオーストラリアの場合、移住先でのアカルチュレーション支援が、現地日本人社会、日本人ソーシャルワーカーによってなされない現状があ

った。また、日本でも増加するアジア系移民に対する定住支援の方法論が確立されていない状況であった。

## 2. 研究の目的

エスニック・マイノリティ支援の方法論構

築のため、日本とオーストラリアの二地点において、「移住者のアカルチュレーション」がそれぞれどのように展開しているかを調査し、現状を明らかにするとともに、多文化ソーシャルワーク実践の方法論構築に向けての試論を展開する。

### 3. 研究の方法

オーストラリア三州 (VA、NSW、QLD) において日本人ソーシャルワーカー、移住者らにインタビューを行うとともに、日本人クラブや日本人会への参与観察を行った。日本国内では、関西地区に定住する東南・東アジア女性たちとともに参加型のワークショップを開催し、「仕事作り」「地域参加」「人間関係」に関するさまざまな問題への支援を試みた。

### 4. 研究成果

オーストラリア三州においては、いずれも日本人コミュニティは新規移住者のアカルチュレーションを支援するシステムを持たない。特に、脆弱性の高い移住者（未成年、低学歴、女性、英語スキルの低いもの、など）は、現地支援システムにもアクセスできず、難渋するケースも散見された。これら脆弱性の高い移住者を支援しているのは、商業ベースの旅行エージェントであった。日本人ソーシャルワーカーたちは、自らのエスニックコミュニティで実践するよりも、オーストラリアのメインストリーム社会において受け入れられることを望み、そのようにふるまう。

一方国内調査においては、関西地区における実践の試みで明らかになったことで、多様な価値観や移住事情を背景にした女性たちが抱える生活問題にかかわるには、従来の福祉的援助方法のみならず、当事者女性自身も援助者とともに参加するアクションプログ

ラムを開発し、当事者が自ら地域社会や日本人コミュニティに働きかけ、マジョリティ側に問題を認識させるような方法論が有効であると思われた。

具体的には、ブレインストーミングを重ねる中で、グループ間に「グラウンド・ルールの遵守」「異なった習慣や価値観を持つグループメンバーの違いを受け入れる」「自分自身が日本社会で生き抜いてきた過去を振り返り、達成してきたことを整理する」などの作業が行われ、基本的な信頼関係が醸成されたところで「仕事作り」プロジェクトが作動した。この段階からは、社会起業志向の学生グループの参加も得て、大学構内で「対話型カフェ」を一日実現し、金銭的利益も得る経験も得た。

その後、達成したことを振り返る中で、「日本社会に積極的にかかわって仕事をして生きていくこと」を実現するために、さまざまな準備が必要であることが話し合われ、次年度は「学ぶ」という要素がグループに加わることで合意を得た。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

- (1) 横田恵子 2009 「オーストラリアの新移民女性—彼女たちを支えるのは誰なのか」『女性学評論』第 23 号 pp. 19-35. (査読なし)
- (2) 舟木紳介 2009 「Current trends in social work theory subjects in Australian Social Work Education」『オーストラリア研究』第 22 号 pp. 60-72. (査読あり)

[学会発表] (計 4 件)

- (1) Yokota Keiko. “Who provides social supports for recent Japanese migrants in Australia?: A case study on social work practices by a Japanese travel agent” 2008 Strength in Unity Conference, Sydney, Australia, 9-12 November, 2008.
- (2) Sun Liang, Funaki Shinsuke, Yokota Keiko. “The Potentials and Difficulties of Culturally And Linguistically Diverse Social Workers: The Case of Japanese Social Workers In Australia” IASSW 34th Global Social Work Congress, Durban, South Africa, July 20-24, 2008.
- (3) Funaki Shinsuke, Mori Kyoko, Sun Liang, Yokota Keiko. “Diverse Welfare professionals' constructions of cultural and ethnic identities in Australia: A Case Study of Japanese Social Work Professionals in Victoria.” Diversity in Health : Strength and Sustainable Solutions (National conference of Multicultural Mental Health Australia), Sydney, March12, 2008.
- (4) 舟木紳介 2007 オーストラリアの日本人コミュニティ組織の社会福祉活動の現状--- エスニック・マイノリティによる多文化ソーシャルワーク実践の課題 日本社会福祉学会第 55 回全国大会, 大阪.

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

- 出願状況 (計 0 件)
- 取得状況 (計 0 件)

[その他]

特になし

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

横田 恵子 (YOKOTA KEIKO)

神戸女学院大学・文学部・准教授

研究者番号 : 50316022

### (2) 研究分担者

孫 良 (SUN LIANG LINDA)

神戸学院大学・総合リハビリテーション学部・准教授

研究者番号 : 90299355

舟木 紳介 (FUNAKI SHINSUKE)

福井県立大学看護福祉学部・講師

研究者番号 : 50315842

### (3) 連携研究者

武田 丈 (TAKEDA JO)

関西学院大学人間福祉学部・准教授

研究者番号 : 30330393

森 恭子 (MORI KYOKO)

文教大学人間科学部・准教授

研究者番号 : 10331547